

せつめい文を よんで えらぼう

小2／文章を よんで、いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 めりえを よんで、この 文で いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう。

めりえで、はみ出さないように ゆっくり めっていました。それでも、ふちから はみ出して しまいます。先に ふちを こい 色で なぞってから、中を めると、はみ出さなく なりました。色の こさは、どちらの めり方でも か わりません。

- 1 めりえは、ゆっくり めると はみ出さない。
- 2 めりえは、ふちを 先に なぞると 色が こく なる。
- 3 めりえは、ふちを 先に なぞると はみ出さない。
- 4 めりえは、ゆっくり めると 色が こく なる。

2 よみきかせを よんで、この 文で いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう。

小さな 弟に 本を 読む とき、大きな 声で 読むと、弟は すぐに ほかの ことを はじめて しまいます。小さな 声で ゆっくり 読むと、顔を 近づけて、しずかに さいごまで 聞いて くれました。

- 1 弟は、小さな 声で 読むと しずかに 聞く。
- 2 弟は、小さな 声で 読むと すぐに ねむる。
- 3 弟は、大きな 声で 読むと すぐに ねむる。
- 4 弟は、大きな 声で 読むと しずかに 聞く。

3 クモの あみを よんで、この 文で いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう。

クモの あみには、虫が ひっかかります。では、なぜ クモは 自分の あみに ひっかからないのでしょうか。あみには、ねばねばする 糸と、ねばらない 糸が あります。クモは、ねばらない 糸を えらんで 歩いているのです。

- 1 クモの 足は、こん虫より 多い8本だ。
- 2 クモは、ねばらない 糸の 上を 歩いている。
- 3 クモの 糸は、とても 細いのに 切れにくい。
- 4 クモは、古く なった あみを 食べて しまう。

4 ヒマワリを よんで、この 文で いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう。

ヒマワリの 花は、お日さまを おいかけて うごく と よく 言われます。でも、お日さまを おって うごくのは、花が さく 前の わかい ころです。花が さいた あとは、ほとんどが 東を むいた ままです。

- 1 ヒマワリには、せが 3メートルに なる もの も ある。
- 2 ヒマワリの たねは、うずまきのように ならぶ。
- 3 さいた ヒマワリの 花は、お日さまを おって うごく。
- 4 さいた ヒマワリの 花は、多くが 東を むいて いる。

せつめい文を よんで えらぼう【こたえ】

小2／文章を よんで、いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：3

ゆっくり めっても『はみ出して しまいます』。ふちを 先に こく なぞると『はみ出さなく なりました』。色の こさは『かわりません』。

2 答え：1

大きな 声で 読むと『ほかの ことを はじめて しまいます』。小さな 声だと『しずかに さいごまで 聞いて くれました』と あります。ほかは 文と 食いちがうか、文に 書いて いません。

3 答え：2

『ねばらない 糸を えらんで 歩いて いる』と あります。ほかは 文に 書いて いません。

4 答え：4

『うごくのは、花が さく 前の わかい ころ』『さいた あとは、ほとんどが 東を むいた まま』と あります。ほかは 文に 書いて いません。

読み取るコツ

さいごの 文の まとめを 見つけます。文に ない ことは えらびません。